

全日中事務局だより

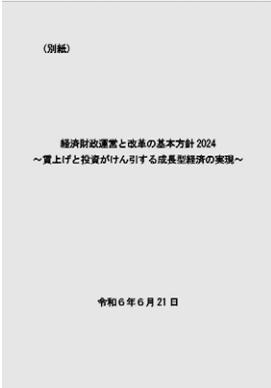
「骨太方針二〇二四」が決定

▼令和六年六月二十一日「経済財政運営と改革の基本方針 2024」賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現」

（骨太方針二〇二四）が経済財政諮問会議での答申を経て、閣議決定された。

▼「骨太方針」という言葉はよく聞か
が、日本経済新聞の解説によれば、

「政府の経済財政 政策の基本方針を定めた文書で、年末の予算編成に向けた国の政策方針を示す。



正式名称は「経済財政運営と改革の基本方針」で、骨太の方針は通称。首相が議長を務める経済財政諮問会議で策定作業を進め、毎年六月ごろに閣議決定をする。(二〇二二、六、八付け記事)」と記されている。

▼先の説明では、「年末の予算編成に向けた国の政策方針を示す」とされているとおり、予算編成の場では、この「骨太方針」に盛り込まれたか否かが大きな分岐点になるといわれている。

▼では、教育分野ではどのようなことが盛り込まれたか。気になるところだ。内容を一部、紹介する。

一、働き方改革の更なる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援の一体的な推進。

二、学校・教師が担う業務の適正化やDXによる業務効率化の促進とともに、学校における働き方改革の取組状況の見える化

三、教職の特殊性や人材確保法の趣旨、教師不足解消の必要性等に鑑み、教職調整額の水準を少なくとも10%以上に引き上げることや新たな職及び級の創設、学級担任の職務の重要性和負担等に応じた手当の加算、管理職手当の改善等の各種手当ての改善

四、二〇二五年の通常国会へ給特法改正案を提出するなど、教師の処遇を抜本的に改善

五、三五人学級等についての小学校における多面的な効果検証等を踏まえつつ、中学校を含め、学校の望ましい教育環境や指導体制の構築

▼一方、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、教師が安心して本務に集中させ、子供たちの豊かな学びを実現するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組や、部活動の地域連携・地域クラブへ

の移行に向けた取組を加速すること。

▼ICTの活用や教育と福祉の連携も強化しつつ、SCやSSW等や警察にいつでも相談できる環境の整備

▼学びの多様な学校や学校内外の教育支援センターの設置促進・機能強化等の不登校対策や重大ないじめ・自殺への徹底した対応やインクルーシブな学校運営モデルの構築など特別支援教育の充実に向けた体制や環境の整備

▼養護教諭の支援体制等の推進、夜間中学の全国的な設置促進・機能強化、セーフティプログラム・シヨンスクールの考え方を取り入れた学校安全の推進等により誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する。

▼今回の「骨太方針二〇二四」の趣旨を生かした令和七年度予算案について一二月にはどのような具体策と同時に予算額が示されるのか。

▼全日本中学校長会としても、様々な

機会を通して、文科省はもちろん、文教関係の国会議員への働きかけを今後進めていくことが重要であると考えている。

「岩手大会」準備進む

▼六月五日、岩手県盛岡市を訪問した。十月に開催される岩手大会の全体会場や分科会会場を下見するとともに、実行委員の皆様と情報交換を行った。

岩手県中学校長会の準備状況話を伺い、頭が下がる思いであった。

▼参集型で開催される研究協議会は昨



年の大分大会に続く大会となる。

全体会場と各分科会会場は徒歩十分程度で移動が可能だ。そのなかで、第四分科会会場として使用される「岩手県公会堂」は昭和二（一九二七）年に完成した国の登録有形文化財として登録された施設でもある。楽しみにしていただきたい。

（事務局長 富士道正尋）